

2015 年
入試用

学校説明会レポート



都立八王子東高等学校

日時	2014 年 6 月 14 日 (土) 10 時 40 分～11 時 30 分
所在地	八王子市
会場	1 階 会議室
対象	塾
出席者数	36 名 満席
配付資料	2015 年学校案内、2015 年学校紹介、プリント綴り「教務部資料」「八王子東の進路指導とは」、2014 Higashi Press、一日体験入学チラシなど

説明会の概要

あいさつ

吉田校長 10:40～10:50

- 都立高校の採点ミスがメディアに取り上げられていますが、本校でも採点上のミスがあり、申し訳ないと思っています。ただし、合否が逆転するという生徒は1人もいませんでした。
- グループ作成問題の入試が始まりました。本校では2014年春は例年より英・数の点数が低くなりました。標準偏差が小さく、1点の差が合否に関わる厳しい入試でした。
- 他校も含めた話では、問題選択でA・Bどちらを選んだかで平均点に大きな開きが出ました。英語は、総じて大問1のリスニングの結果が悪かったようです。大問2の「確率」・「3Dプリンター」の選択では差が出ませんでした。大問3の物語文・説明文の選択では差が出ました。本校は説明文を選んだので点数が低くなりました。
- 差し替え問題について。2014年は本校では行わない、と昨年は早い時期に決めていましたが、2015年については検討中です。
- 2015年は、「大問ごとに選択、うち1問は差し替え可」という全体のルールは変更ありません。

入試について

教務部主幹 松田先生 10:50~11:00

《推薦入試》

- 本校ではこれまで、調査書 500 点＋小論文 300 点＋面接・集団討論 200 点の 1000 点満点で合否を決めています。平成 27 年度入試について正式には平成 26 年 9 月に発表されますが、大きな変更はないと思われます。
- 集団討論は 開始して 2 年しか経っていないので手探りの部分もありますが、平成 27 年度についても大きな変更は予定していません。時間は 30 分間で、平成 25 年度は高齢者をテーマに、平成 26 年度は社会人として重視されることについて、初めの 5 分間でそれぞれ自分の意見をまとめさせ、後の 25 分間で討論する、という方法で行われました。司会は置かない、という点も変更ありません。自分の意見を言う必要があるので、討論に苦手意識があって手が挙がらないと、どうしても点数が低くなります。採点は、①積極的に自分の意見が言えるか、②相手の言うことをよく聞いて、それにかみ合わせて自分の意見が言えるか、を観点として行います。受験生はある程度の練習が必要です。集団討論が上手いかなかった生徒に対しては、面接の方で先生がフォローとなるような質問をする場合があります。

《学力検査》

- 平成 27 年度入試については大きな変更はない予定です。
- 実質倍率は、この 10 年ほどは 1.4 倍をはさんで上下する範囲にあり、ほぼ安定しています。いきなり 2 倍、3 倍になったりはしないでしょう。辞退者・欠席者が少なく、第一志望の生徒が多かったと思われます。
- 以前実施していた自校作成問題では、平均点が 60% 得点になるよう作問していました。グループ作成問題でも同様に 60% 得点を目指しましたが、本校では、平成 26 年年春の受験者平均点が、英語：男子 48.6 点・女子 49.5 点、数学：男子 50.7 点・女子 48.2 点、国語：男子 60.5 点・女子 64.8 点と英・数でかなり低くなってしまいました。これまで 1 科目が低いという年はありましたが 2 科目で低くなるということはなく、2014 年は英語や数学の点が低くても理・社が高ければ合格する入試でした。2015 年は、問題量も検討して平均点を上げ、英・数・国の合計 180 点を目指します。特に数学は問題量に対応できていなかった受験生が多く、記述問題がほとんど手つかずという生徒もいて、点数が開く要因となりました。
- 理・社は 85% から 90% の得点を目指して勉強するよう受験生に言ってきましたが、実際のところ最近 2 年間の入試は受験者平均点が 85% に届いていません。要因として、記述問題に弱いことが挙げられます。問題文中のヒントや図表、適正な語句などを活用できていないため、正しいことが書いてあっても点数に結びつかないというケースが目立っています。理・社で 85% 得点に達していれば、英・数・国の点数が低くても埋め合わ

せができる場合があります。不得意な科目や分野を作らないことが重要です。

進路指導

進路指導部主幹 松永先生 11:00～11:20

- 「自分をさらに伸ばすことができる環境」という視点での大学選びが浸透し、国公立大の現役合格率が順調に伸びています。
- 平成26年度入試は、翌年度の新課程入試への変わり目ということで全国的に浪人を避けようとする傾向がありました。本校では、そんなことで自分の目標を変更しないよう、浪人も辞さない覚悟でとの指導をしましたが、中にはやはり MARCH に合格してそのまま進学するという生徒もいて、現役進学率が 70.97% と高くなりました。今後難関大にチャレンジする生徒が戻ると、現役進学率は 60～65% 程度になると考えています。
- 平成26年春のセンター試験の出願率は 99.4% でした。入学する生徒のほとんどが国公立大志望で、センター試験は受けて当然、という空気があります。本校の校内成績の評定平均値は 3.5～3.6 で、このレベルの成績が取れていれば国公立大の合格が見えてきます。

質疑応答

吉田校長ほか 11:20～11:30

Q：国語の作文の採点基準を詳しく聞かせてください。

A：平成26年度入試の説明的文章は、外来語の意味をとらえるのが困難だったことに加え問題文そのものが長く、読解が難しかったようです。採点について詳細は言えませんが、観点をいくつか決めておき、観点ごとの点数を加点します。減点法ではありません。ただし、正しいことを書けているが漢字が間違っているような場合は減点されます。社会科の例ですが、平成26年度入試では、大問1の「暖流」の「暖」を“日ヘン”にしないという初歩的な間違いが散見されました。

Q：理・社の受験者平均点を教えてください。

A：非公表なので点数は言えません。ほぼ 80% と考えてください。

学校周辺の環境

- 落ち着いた住宅街で、近くには緑豊かな公園や首都大学東京の日野キャンパスがあります。

交通

JR 中央線豊田駅からバス「旭ヶ丘中央公園」下車、徒歩 6 分

// 徒歩 22 分

JR 中央線豊田駅・八王子駅、京王八王子駅からバス「大和田坂上」下車、徒歩 6 分

JR 八高線北八王子駅から徒歩 11 分